



# 機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和 5 年 11 月 実績

November 2023



令和 6 年 1 月

January 2024

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics  
Economic and Social Research Institute  
Cabinet Office, Government of Japan

## 目 次

2023（令和5）年11月の機械受注動向	
（1）需要者別受注動向（季節調整値）	1
（2）民需の業種別受注動向（季節調整値）	1
（3）販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）	1
〈参考1〉 需要者別の機械受注動向（原数値）	6
〈参考2〉 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）	6
統 計 表	8

### （ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来の移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

### （ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。  
[https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu\\_juchu.html](https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html)
- 2017（平成29）年6月調査より、機種分類の表章を一部変更した（「電子計算機」と「半導体製造装置」を統合し、「電子計算機等」とした）。

## 2023（令和5）年11月の機械受注動向

### (1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比で見ると、受注総額は、10月7.6%減の後、11月は2.0%増となった。

需要者別にみると、民需は、10月1.9%減の後、11月は7.4%減となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、10月0.7%増の後、11月は4.9%減となった。内訳をみると製造業が7.8%減、非製造業（船舶・電力を除く）が0.4%減であった。

一方、官公需は、10月37.9%減の後、11月は国家公務で減少したものの、防衛省、「その他官公需」等で増加したことから、36.3%増となった。

また、外需は、10月3.4%減の後、11月は産業機械、原動機等で減少したものの、船舶、電子・通信機械等で増加したことから、2.5%増となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、10月24.1%増の後、11月は原動機で増加したものの、道路車両、産業機械等で減少したことから、5.7%減となった。

### (2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、10月0.2%増の後、11月は7.8%減となった。

11月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、繊維工業（54.0%増）、非鉄金属（40.2%増）等の8業種で、情報通信機械（24.1%減）、金属製品（19.9%減）等の9業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、10月1.0%減の後、11月は8.0%減となった。

11月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、通信業（40.3%増）、運輸業・郵便業（12.8%増）等の4業種で、電力業（47.4%減）、不動産業（30.8%減）等の8業種は減少となった。

### (3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

11月の販売額は2兆6,203億円（前月比1.7%増）で、前3か月平均販売額は2兆5,797億円（同2.6%増）となり、受注残高は36兆5,693億円（同0.0%減）となった。この結果、手持月数は14.2か月となり、前月差で0.4か月減少した。

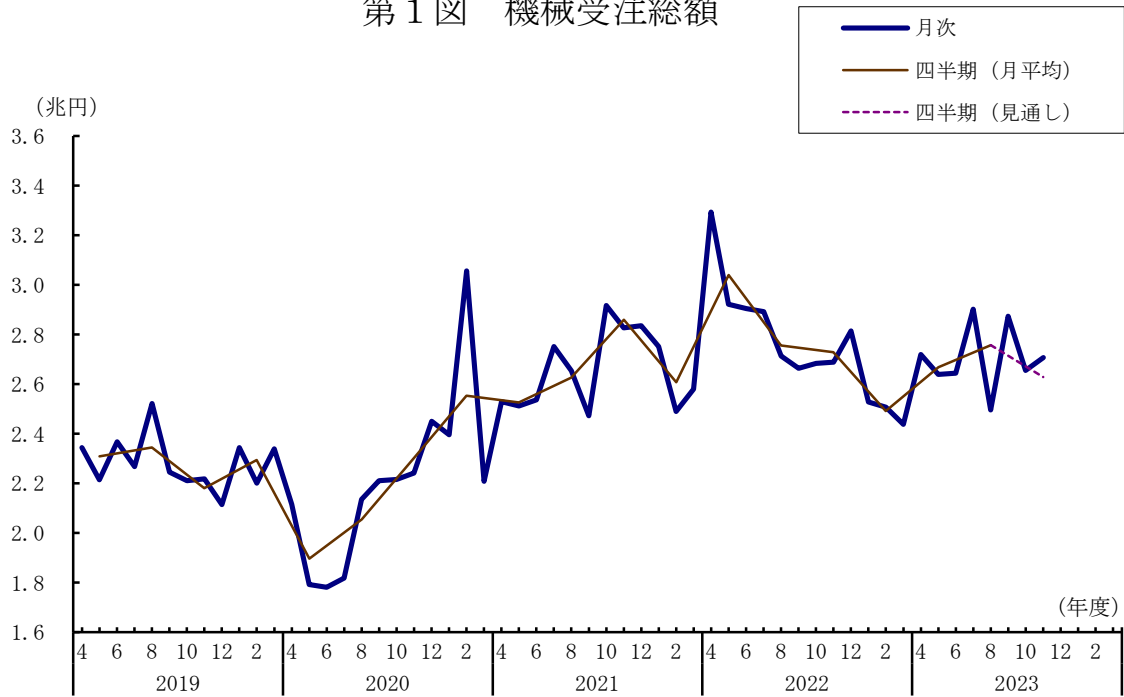
第1表 主要需要者別機械受注額

(単位：億円，%)

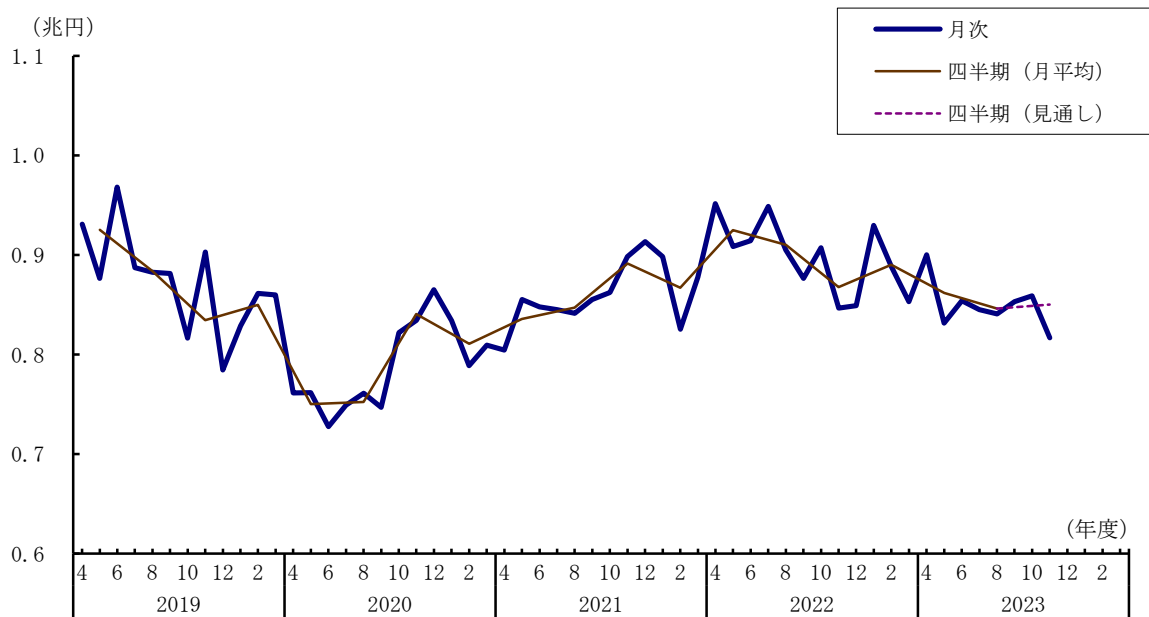
期・月 需要者	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)			2023年 (令和5年)			
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	8月	9月	10月	11月
受注総額	81,850 ( -1.0) [ -4.9]	74,716 ( -8.7) [ -4.5]	80,011 ( 7.1) [ -11.8]	82,701 ( 3.4) [ 0.1]	24,957 ( -14.0) [ -8.5]	28,729 ( 15.1) [ 6.4]	26,544 ( -7.6) [ -0.0]	27,069 ( 2.0) [ 0.5]
民需	28,877 ( -8.3) [ -12.4]	30,930 ( 7.1) [ 4.0]	30,237 ( -2.2) [ -5.8]	32,792 ( 8.4) [ 3.5]	9,761 ( -23.7) [ -7.7]	10,241 ( 4.9) [ 2.0]	10,047 ( -1.9) [ 4.4]	9,304 ( -7.4) [ -4.1]
〃 (船舶・電力を除く)	26,028 ( -4.7) [ -3.6]	26,705 ( 2.6) [ 1.8]	25,855 ( -3.2) [ -6.7]	25,385 ( -1.8) [ -7.2]	8,407 ( -0.5) [ -7.7]	8,529 ( 1.4) [ -2.2]	8,587 ( 0.7) [ -2.2]	8,167 ( -4.9) [ -5.0]
製造業	12,255 ( -10.6) [ -8.4]	12,492 ( 1.9) [ -6.2]	12,627 ( 1.1) [ -10.5]	12,306 ( -2.5) [ -10.8]	4,157 ( 2.2) [ -14.1]	4,082 ( -1.8) [ -9.3]	4,092 ( 0.2) [ -1.9]	3,774 ( -7.8) [ -4.3]
非製造業 (船舶・電力を除く)	13,955 ( 2.1) [ 1.1]	14,401 ( 3.2) [ 9.6]	13,134 ( -8.8) [ -2.7]	13,034 ( -0.8) [ -3.5]	4,209 ( -3.8) [ 0.5]	4,448 ( 5.7) [ 4.3]	4,500 ( 1.2) [ -2.3]	4,482 ( -0.4) [ -5.5]
官公需	7,529 ( -3.6) [ -13.1]	9,026 ( 19.9) [ 0.4]	10,132 ( 12.2) [ 16.4]	10,445 ( 3.1) [ 37.7]	2,666 ( -22.3) [ -3.3]	4,347 ( 63.0) [ 64.2]	2,699 ( -37.9) [ 1.7]	3,679 ( 36.3) [ 44.2]
外需	41,056 ( 2.4) [ 2.6]	32,252 ( -21.4) [ -13.7]	35,702 ( 10.7) [ -22.0]	36,204 ( 1.4) [ -9.2]	11,113 ( -7.1) [ -11.6]	13,135 ( 18.2) [ -0.6]	12,681 ( -3.4) [ -4.2]	12,994 ( 2.5) [ -2.4]
代理店	3,579 ( 1.4) [ -4.0]	3,584 ( 0.1) [ 8.5]	3,606 ( 0.6) [ -1.7]	3,429 ( -4.9) [ -3.3]	1,266 ( 10.1) [ 7.8]	1,012 ( -20.1) [ -15.3]	1,257 ( 24.1) [ 6.2]	1,185 ( -5.7) [ 0.8]

- (備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期（月平均）は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2023年10～12月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2023年9月末時点）」の季節調整値を3で割った数値。

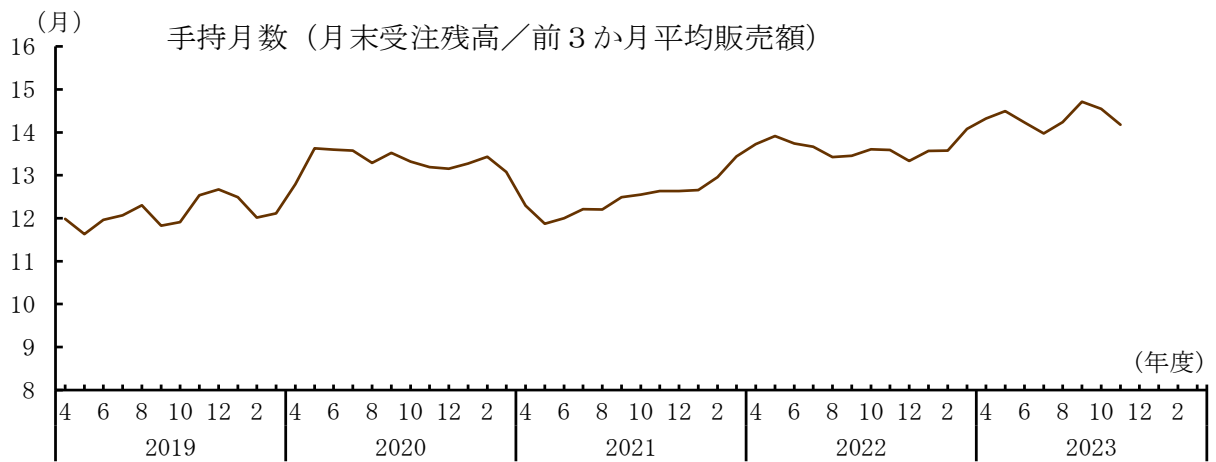
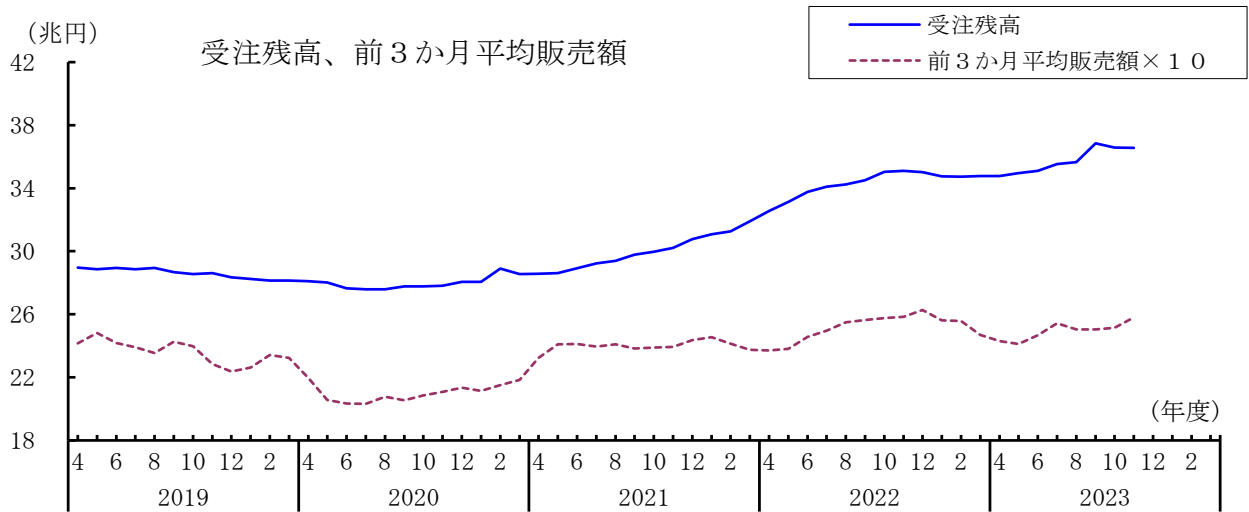
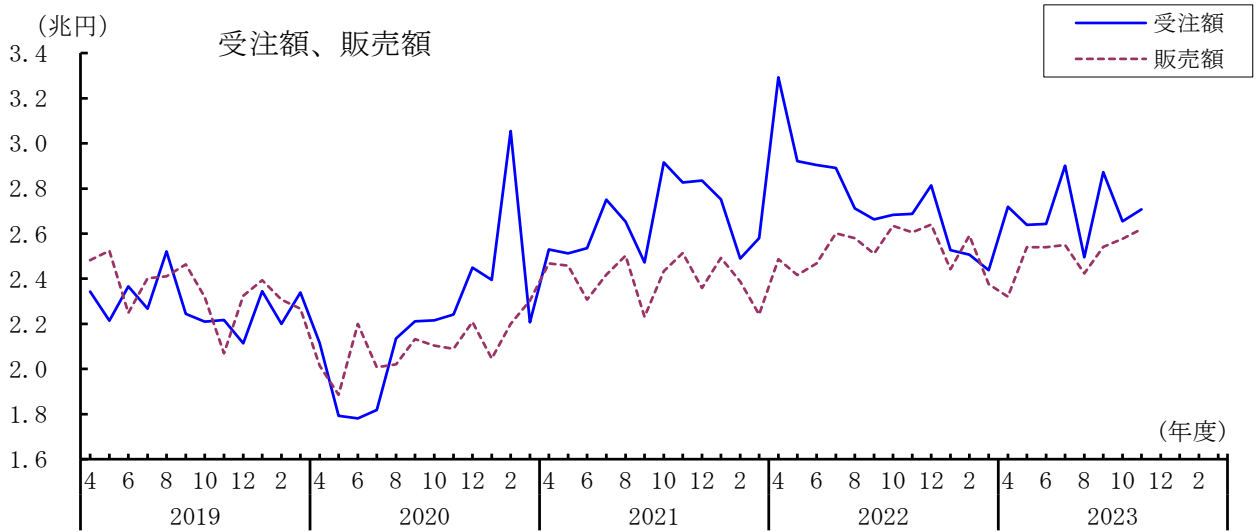
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

期・月 需要者	2022年 (令和4年) 10～12月	2023年 (令和5年) 1～3月	4～6月	7～9月	2023年 (令和5年) 8月	9月	10月	11月
I 製造業計	-10.6	1.9	1.1	-2.5	2.2	-1.8	0.2	-7.8
1 食品製造業	19.9	-12.2	10.0	-1.1	-39.8	23.9	10.6	-0.1
2 繊維工業	-25.3	-5.6	110.1	-55.4	-24.9	17.5	-5.0	54.0
3 パルプ・紙・紙加工品	-28.5	10.0	-12.9	165.5	-20.8	-66.6	-11.6	-2.6
4 化学工業	-24.8	6.9	21.7	48.4	206.1	-61.4	-22.3	3.1
5 石油製品・石炭製品	-7.6	36.4	61.8	-42.9	-35.1	119.7	-45.5	7.8
6 窯業・土石製品	-18.2	31.7	-7.9	-1.8	-4.2	1.3	-11.4	-10.0
7 鉄鋼業	9.7	-11.9	-1.1	10.1	4.6	7.4	10.1	16.6
8 非鉄金属	-47.8	32.0	-37.6	-15.8	-48.9	87.1	-41.2	40.2
9 金属製品	2.4	-0.2	-8.8	-7.2	1.6	11.5	27.3	-19.9
10 はん用・生産用機械	-11.5	7.8	2.0	3.6	4.9	-14.4	8.9	-12.7
11 業務用機械	1.1	-3.6	-25.9	-2.3	21.1	-11.7	17.4	-18.4
12 電気機械	-13.7	-10.8	5.7	-12.1	-1.7	29.1	-25.2	12.7
13 情報通信機械	-11.0	-21.5	-2.4	2.5	-16.9	50.9	-39.0	-24.1
14 自動車・同付属品	-8.4	-0.5	11.3	-2.5	15.0	6.4	-10.0	3.7
15 造船業	-19.0	67.5	-24.1	-9.1	52.5	75.7	-22.3	-11.1
16 「その他輸送用機械」	-8.4	-13.5	54.5	-11.4	-12.6	11.4	5.3	23.5
17 「その他製造業」	-16.4	19.3	-9.5	-10.5	-12.2	-8.0	53.4	-31.0
II 非製造業計	-4.5	9.7	-5.1	17.0	-36.9	9.3	-1.0	-8.0
18 農林漁業	16.3	5.5	-14.1	-0.5	3.3	-7.4	-0.2	0.7
19 鉱業・採石業・砂利採取業	129.6	-52.1	-11.9	9.2	21.7	1.4	10.3	-12.8
20 建設業	13.7	30.8	-38.6	10.3	1.6	-0.0	-5.9	-0.5
21 電力業	-16.4	27.8	30.6	70.4	-79.4	24.7	25.5	-47.4
22 運輸業・郵便業	-34.8	29.2	-19.7	3.1	5.3	-14.0	9.1	12.8
23 通信業	-15.5	28.9	-30.5	4.0	14.4	16.4	-13.0	40.3
24 卸売業・小売業	6.2	-9.7	-13.3	10.0	16.7	-15.3	29.0	-12.0
25 金融業・保険業	2.4	-6.3	22.5	-9.6	-15.8	25.3	0.3	-17.4
26 不動産業	-22.0	17.4	13.6	-29.1	26.4	-59.1	129.4	-30.8
27 情報サービス業	10.0	-2.7	-0.4	-12.0	5.5	-10.1	-6.6	-13.1
28 リース業	4.6	-0.5	27.5	79.3	113.2	145.1	-73.4	-13.1
29 「その他非製造業」	-2.5	-0.0	-3.8	8.4	-0.6	-9.3	5.7	8.7

(備考) 季節調整系列の対前期(月)増減率。

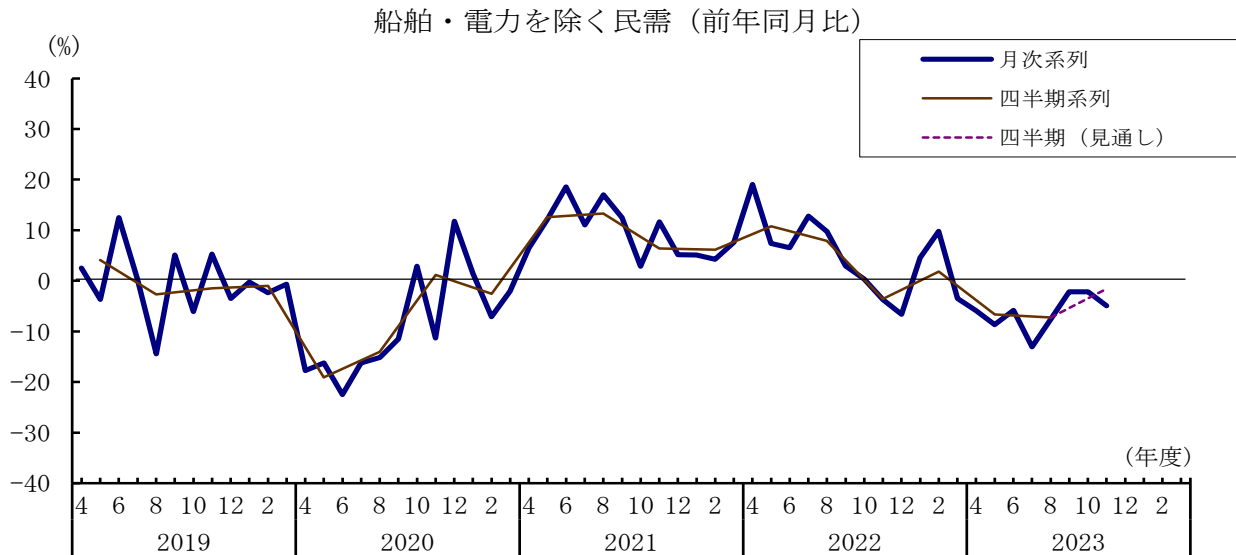
第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数  
(総額、季節調整値)



<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

11月の受注総額は、2兆3,878億円の前年同月比0.5%増となった。

第4図 機械受注額の動向



（備考）「2023年10～12月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2023年9月末時点）」による。

需要者別にみると、民需は8,274億円で前年同月比4.1%減（船舶・電力を除くと同5.0%減）、官公需は2,448億円で同44.2%増、外需は1兆1,918億円で同2.4%減、また、代理店は1,238億円で同0.8%増となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比4.3%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、「その他輸送用機械」（48.1%増）、鉄鋼業（22.8%増）等の7業種で、情報通信機械（56.0%減）、業務用機械（33.2%減）等の10業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注は、前年同月比3.9%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、通信業（22.7%増）、リース業（5.7%増）等の4業種で、情報サービス業（27.3%減）、不動産業（19.2%減）等の8業種は減少となった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

11月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、船舶（129.7%増）、航空機（43.5%増）等で増加となった。反面、重電機（24.4%減）、原動機（20.4%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比0.5%増となった。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、航空機（188.4%増）、



船舶（121.7%増）等で増加となった。反面、工作機械（31.5%減）、鉄道車両（24.0%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比4.1%減となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

	2022年 (令和4年) 10~12月	2023年 (令和5年) 1~3月	4~6月	7~9月	2023年 (令和5年) 8月	9月	10月	11月
民需総額	-12.4	4.0	-5.8	3.5	-7.7	2.0	4.4	-4.1
原動機	-37.6	4.3	9.0	44.2	-53.9	-9.6	78.6	4.0
重電機	-17.7	4.6	-17.8	8.9	4.1	26.0	-8.2	0.9
電子・通信機械	-4.1	-1.4	-2.6	-3.4	-8.1	-0.4	-8.0	-7.9
産業機械	-2.5	9.4	-8.8	4.1	14.8	3.6	5.3	-3.7
工作機械	-11.3	-11.3	-25.7	-28.3	-33.1	-24.5	-28.0	-31.5
鉄道車両	33.1	25.6	10.6	-55.3	9.7	-0.0	-13.4	-24.0
道路車両	-24.2	-17.9	33.2	50.6	47.0	46.6	64.3	37.1
航空機	-7.0	7.6	17.5	101.7	3.5	138.8	148.9	188.4
船舶	-89.8	64.5	-65.8	-50.0	321.8	-54.0	123.6	121.7

(備考) 原系列による対前年同期(月)増減率。

## (2) 販売額

11月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、航空機（54.1%増）、原動機（10.3%増）等で増加となった。反面、鉄道車両（20.5%減）、工作機械（12.9%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比0.8%増となった。

## (3) 受注残高

11月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、船舶（54.3%増）、航空機（17.5%増）等で増加となった。反面、道路車両（27.8%減）、工作機械（5.4%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比4.2%増となった。

## 2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

### (1) 鉄構物

11月の受注額は、324億円で前年同月比3.7%増、販売額は、302億円で同2.7%増、受注残高は、4,596億円で同9.4%減となった。

### (2) 軸受

11月の受注額は、661億円で前年同月比2.7%減、販売額は、623億円で同7.3%減、受注残高は、1,295億円で同17.3%増となった。

### (3) 電線・ケーブル

11月の受注額は、1,243億円で前年同月比6.7%減、販売額は、1,278億円で同8.4%増、受注残高は、3,199億円で同38.8%増となった。

機械受注実績調査統計表  
目次

[ グラフ ]

第1図 主要需要者別受注額	-----	9
第2図 主要業種別受注額	-----	12
第3図 主要機種別受注額	-----	17

[ 計数表 ]

需要者別受注額（季節調整系列）	-----	18
機種別受注残高手持月数（ 〃 ）	-----	23
需要者別受注額（原系列）	-----	24
機種別受注額（ 〃 ）	-----	29
機種別販売額（ 〃 ）	-----	33
機種別受注残高（ 〃 ）	-----	37
機械受注統計調査結果表（2023年11月実績）	-----	41

(別紙)

需要者（業種）分類の表章変更	-----	45
----------------	-------	----

(巻末)

季節調整の検討結果	-----	46
-----------	-------	----